調査の概要

■ **1 的**:市の政策に対して、<u>市民の皆さんが感じている思い</u>(施策の満足度・重要度等)を<u>把握</u>し、必要に応じて事務事業の見直しや改善を図りながら、 <u>効率的で効果的な行政運営</u>につなげるとともに、調査を通じて市民の皆さんに<u>市政への関心や理解</u>を深めていただき、<u>協働・共創のまちづくりを</u> より一層推進することを目的とする。

■ 調査種別:(1)市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系(「施策の柱」「施策の大綱」)に基づき設定した設問項目(施策)について、 「満足度」「重要度」「今後さらに推進すべき取り組み」を調査した。また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、 市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさ などに関する意識調査を実施。

※<u>「市民による市政評価」は平成18年度</u>から継続実施。

(2)個別事業評価

<u>個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、より市民目線に立った施策の推進や事業の見直し</u>を進めるため<u>次の3テーマ</u>について 調査を実施。

※「個別事業評価」は平成28年度から「市民による市政評価」と併せて実施。

	テーマ
1)	広報活動
2)	地域公共交通対策事業
3)	地球温暖化対策事業

■ 調 査 対 象:16歳以上85歳未満の市民 1,000人(無作為抽出)

■ 実 施 期 間:令和7年4月30日~5月30日(31日間) ※令和6年度:5月10日~6月7日実施(29日間)

■ <u>回答数 及び 回答率</u>: <u>529人(52.9%)</u> ※令和6年度: 589人(58.9%)

■ 回答方法別の回答割合:郵送 313人(59.2%) ※令和6年度:郵送 445人(75.6%)

インターネット 216人(40.8%) ※令和6年度:インターネット 144人(24.4%)

1. 満足度、重要度、要望度について

満足の度合い: 上位項目は、上から「保健・医療」「自然・衛生環境」「安全・安心体制」の順となっており、

下位項目は<u>下から「商工業」「雇用・就労」「空き家対策」</u>の順となっている。

▶ 重要の度合い: 上位項目は、上から「保健・医療」「子育て」「雇用・就労」の順となっており、

下位項目は<u>下から「地域間・国際交流」「スポーツ」「花火産業構想」</u>の順となっている。

➤ 要望の度合い: 上位項目は、上から「雇用・就労」「商工業」「農林水産業」の順となっており、

下位項目は<u>下から「スポーツ」「地域間・国際交流」「花火産業構想」</u>の順となっている。

〈満足の度合い〉

順	位		満足度		
R7	R6	項 目	R 7	R6	増減
1\\	11.0		11. /	11.0	(R7-R6)
1	1	【保健·医療】	3.62	3.66	▲ 0.04
2	2	【自然·衛生環境】	3.49	3.52	▲ 0.03
3	3	【安全·安心体制】	3.44	3. 51	▲ 0.07
4	5	【スポーツ】	3.41	3. 44	▲ 0.03
5	6	【上·下水道】	3.38	3.40	▲ 0.02

順	位		満足度		
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
25	25	【出会い・結婚】	2.86	2.90	▲ 0.04
26	26	【市街地】	2.82	2.87	▲ 0.05
26	27	【空き家対策】	2.82	2.82	0.00
28	28	【雇用·就労】	2.73	2.81	▲ 0.08
29	29	【商工業】	2.68	2.80	▲ 0.12

〈重要の度合い〉

順位			重要度		
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【保健・医療】	4.40	4. 35	0.05
2	1	【子育て】	4.38	4. 35	0.03
2	3	【雇用・就労】	4.38	4.34	0.04
4	7	【農林水産業】	4.32	4. 22	0.10
5	4	【安全・安心体制】	4.31	4. 25	0.06

	$\overline{}$	\sim		\sim	\sim
順	位		重要度		
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
25	26	【市民協働】	3.62	3.60	0.02
26	27	【芸術・文化】	3.58	3.53	0.05
27	25	【花火産業構想】	3.54	3.61	▲ 0.07
28	28	【スポーツ】	3.52	3.45	0.07
29	29	【地域間・国際交流】	3.39	3.40	▲ 0.01

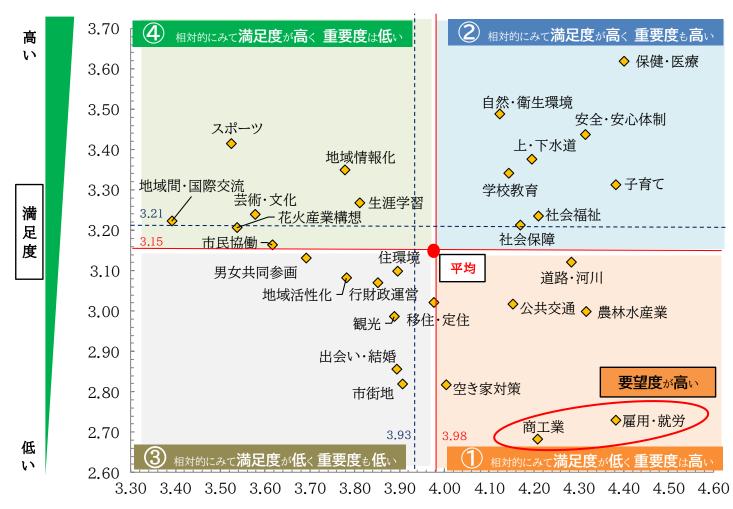
〈要望の度合い〉(重要度-満足度)

順位			要望度		
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【雇用・就労】	1.65	1.53	0.12
2	2	【商工業】	1.53	1.44	0.09
3	4	【農林水産業】	1.32	1.12	0.20
4	3	【空き家対策】	1.18	1. 17	0.01
5	7	【道路・河川】	1.16	0.95	0.21

_		\sim	\sim	\smile	\smile	\sim
順	ψ.			要望度		
R7	R6]	項 目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
25	23	【地域作	青報化】	0.43	0.40	0.03
26	27	【芸術	・文化】	0.34	0.24	0.10
27	26	【花火剂	産業構想】	0.33	0.33	0.00
28	28	【地域間	・国際交流】	0.17	0.11	0.06
29	29	【スポ-	-ツ]	0.11	0.01	0.10

2. 満足度、重要度、要望度の散布図について

➤ 相対的に見て**要望度が高い**(<u>「満足度」は低いが「重要度」は高い</u>)項目は、 昨年度同様、「雇用・就労」「商工業」となっている。特に<u>「雇用・就労」は最も要望度が高い</u>項目となっている。



※青線は昨年の平均

低い

※赤線は今年の平均

重要度

髙い

3. 第2次大仙市総合計画と散布図との対応関係について

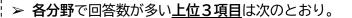
▶ 第2次大仙市総合計画と市政評価の項目との対応関係は、以下のとおりとなっている。

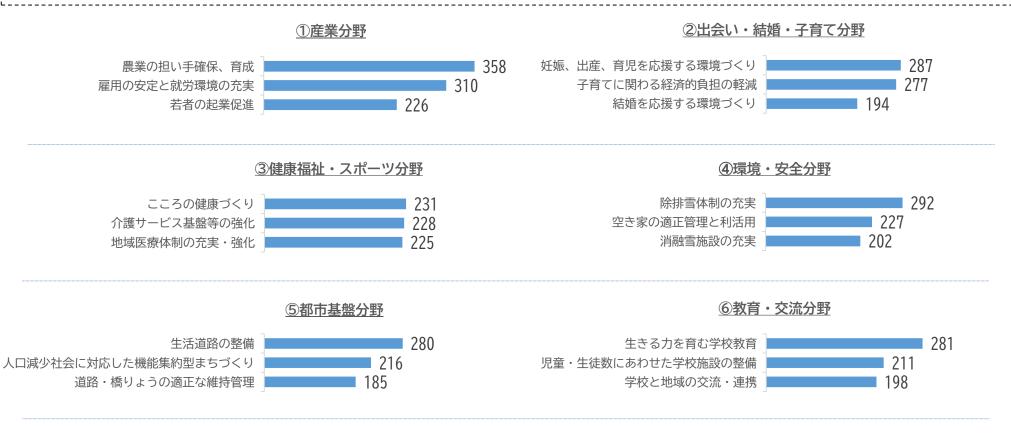
節	施策の大綱	施策名	市政評価の項目	散布図 位置
第1	節 魅力ある産業のまちを創りま			
	1-1農林水産業の振興	1-1-1 優れた農畜産物の発信と流通・販売の促進 1-1-2 大仙市が誇る農畜産物づくり 1-1-3 担い手の確保・育成 1-1-4 農村環境と生産条件の整備 1-1-5 林業・水産業の振興	農林水産業	1
	1-2商工業の振興	1-2-1 商業環境整備の支援 1-2-2 団体・経営者の支援 1-2-3 地場産業と企業誘致の強化	商工業	1
	1-3花火産業構想の振興	1-3-1 花火産業構想の推進	花火産業構想	4
	1-4観光の振興	1-4-1 魅力ある観光地づくり	観光	3
	1-5雇用の安定・就労の促進	1-5-1 雇用・就労環境の支援	雇用・就労	1
第2	節 みんなの元気を応援します!			
		2-1-1 出会い・結婚の促進	出会い・結婚	3
	2-1出会い・結婚・子育ての充実	2-1-2 母子保健の充実 2-1-3 育児支援の充実 2-1-4 保育サービスの充実 2-1-5 児童健全育成の充実	子育て	2
	2-2保健・医療の充実	2-2-1 健康づくりの啓発と推進 2-2-2 地域医療体制の充実	保健・医療	2
	2-3社会福祉の充実	2-3-1 地域福祉の推進 2-3-2 障がい児・者福祉の充実	社会福祉	2
	2-4高齢者福祉の充実	2-4-1 高齢者の暮らしを支える体制の充実		
	2-5社会保障の充実	2-5-1 国民健康保険・後期高齢者医療制度・国民年金 2-5-2 生活保護者の相談業務の充実、自立支援強化	社会保障	2
	2-6スポーツの推進	2-6-1 スポーツ機会の拡大と環境の整備	スポーツ	4
第3	<u>節 住みよいまちを築きます!</u>			
	3-1自然環境の保全	3-1-1 環境保全・環境美化	自然・衛生環境	2
	3-2安全・安心体制の充実	3-2-1 交通安全の推進 3-2-2 防犯体制の強化 3-2-3 消防、防災の充実	安全・安心体制	2
	3-3雪対策の強化	3-3-1 冬期間の円滑な道路交通の確保 3-3-2 総合的な雪対策の推進		
	3-4空き家対策の推進	3-4-1 空き屋の適正管理と利活用の推進	空き家対策	1
	3-5公共交通の整備	3-5-1 地域公共交通の維持	公共交通	1
	3-6衛生環境の整備	3-6-1 排出抑制と適正処理 3-6-2 環境衛生対策の充実	自然・環境衛生	2
	3-7地域情報化の推進	3-7-1 情報通信基盤の整備 3-7-2 地域の情報発信の推進	地域情報化	4
		3-8-1 都市計画区域の再編	市街地	(3)
	3-9道路河川等の整備	3-9-1 安全で快適な道路・河川の確保 3-9-2 都市計画道路網の整備・再編	道路・河川	1
	3-10上下水道等の整備	3-10-1 水道施設の整備と水道事業の統合 3-10-2 生活排水処理対策の推進	上・下水道	2
	3-11住環境、公園、緑地の整備	3-11-1 住宅の整備 3-11-2 公園・緑地の整備、緑化の推進	住環境	3

節	施策の大綱	施策名	市政評価の項目	散布区 位置
第4	節 豊かな心と創造力を育みます			
		4-1-1 教育内容の充実		
4	4-1学校教育の充実	4-1-2 学校施設の充実	学校教育	2
		4-1-3 異校種・地域住民との交流・連携		
l,	4-2生涯学習の推進	4-2-1 生涯学習の推進	生涯学習	4
Ľ	1-2土在子白の推進	4-2-2 学習機会の充実と社会参加活動の支援	土涯子自	4
	4-3芸術・文化の振興	4-3-1 芸術・文化の振興		4
ľ	1-3云彻,又1007旅典	4-3-2 文化財の保存、整備、活用の推進	芸術・文化	4
4	4-4地域間交流・国際交流の推進	4-4-1 協働による地域間交流・国際交流の推進	地域間・国際交流	4
第50	節 時代に合った地域を創ります	!		
		5-1-1 地域協議会の活性化		
į	5-1地域社会の維持・活性化	5-1-2 自治会活動等に対する支援	地域活性化	3
		5-1-3 地域コミュニティの再構築		
į	5-2移住・定住の促進	5-2-1 「だいせんライフ(暮らし)」のPR促進	移住・定住	3
į	5-3市民との協働	5-3-1 市民協働の推進	市民協働	4
Γ,	5-4男女共同参画の推進	5-4-1 男女共同参画のための基盤整備	男女共同参画	3
ŀ	0-4男女共同参画の推進	5-4-2 男女が豊かに働ける社会の形成	为 女共 问 参画	3
		5-5-1 行政改革大綱の推進		
į	5-5行財政運営の効率化	5-5-2 公共施設の効率的な運営	行財政運営	3
		5-5-3 アーカイブズの構築		



4. 今後、さらに推進すべき取組について(各分野)





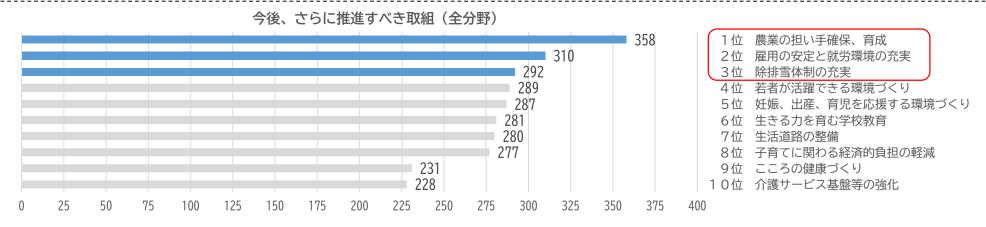
⑦地域活性化・市民との協働・行財政運営分野



5. 今後、さらに推進すべき取組について(全分野)

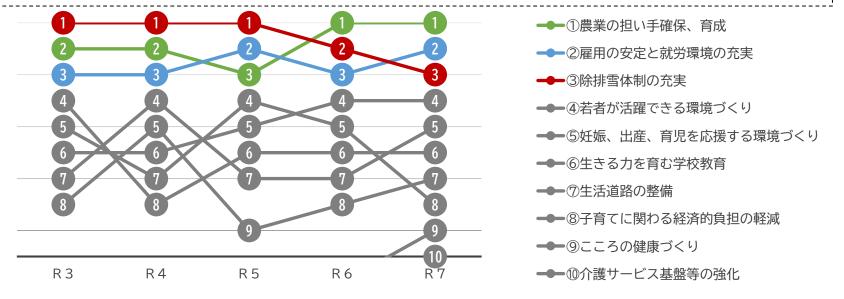
➤ 全分野で回答数が多い上位10項目は次のとおりである。

「農業の担い手確保、育成」は1位(昨年度1位)「雇用の安定と就労環境の充実」は2位(昨年度3位) 「除排雪体制の充実」は3位(昨年度2位)であった。



経年比較グラフ(過去5か年分)

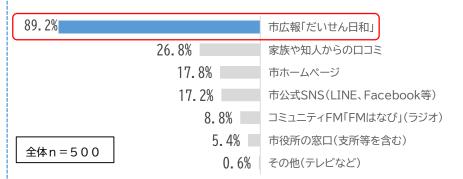
▶ 過去5か年、さらに推進すべき取組として回答されている上位項目の顔ぶれに、大きな変動は見られない。



6. 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

(1) 市政情報の入手手段

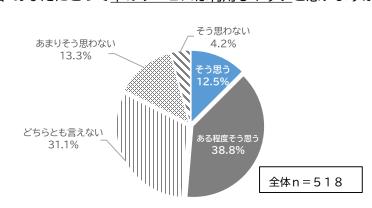
Q あなたが市政情報を入手するために<u>主に利用している手段</u>は何ですか。



➤ 全体では、「市広報『だいせん日和』」が 89.2%と最も高く、 次いで「家族や知人からの口コミ」が 26.8%となっている。

(3)市の行政サービスの利用しやすさ

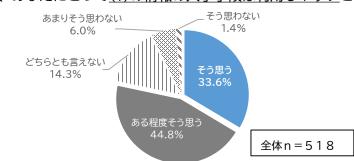
Q あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。



→ 全体では、「そう思う(利用しやすい)」が 12.5%、
「ある程度そう思う(ある程度利用しやすい)」が 38.8%となっており、
「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 51.3%となっている。

(2) 市政情報の入手しやすさ

Q あなたにとって<u>(1)の情報の入手手段は利用しやすい</u>と思いますか。



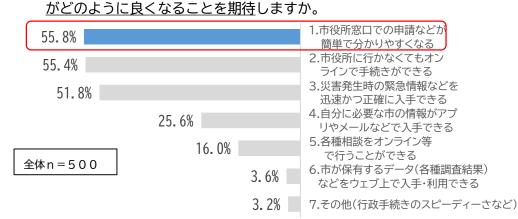
➤ 全体では、「そう思う(入手しやすい)」が 33.6%

<u>「ある程度そう思う(ある程度入手しやすい)」</u>が <u>44.8%</u>となっており、

<u>「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は 78.4%</u>となっている。

(4) 行政サービスのデジタル化に期待すること

Q あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、<u>市が行っているサービス</u>

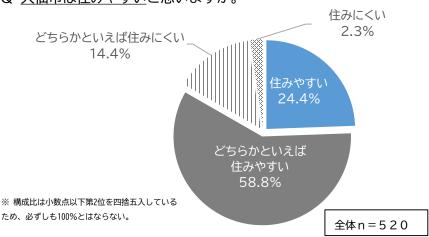


➤ 全体では、<u>「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」</u>が <u>55.8%</u> と<u>最も高く</u>、次いで<u>「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」</u>が **55.4**%となっている。

7. あなたが思う大仙市について

(1) 大仙市の住みやすさ

Q 大仙市は住みやすいと思いますか。



- ▶ 全体では、「住みやすい」が 24.4%、
 「どちらかといえば住みやすい」が 58.8%となっており、「住みやすい」
 「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 83.2%となっている。
- → 一方、「住みにくい」が 2.3%、
 「どちらかといえば住みにくい」が 14.4%となっており、「住みにくい」
 「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は 16.7%となっている。

(2) 大仙市の住みやすさ(経年比較表)

経年比較 (過去5か年)	R3	R4	R5	R6	R7
住みやすい	27.7%	31.7%	24.0%	27.1%	24.4%
どちらかといえば	55.0%	56.0%	61.4%	58.7%	58.8%
住みやすい	(82.7%)	(87.7%)	(85.4%)	(85.8%)	(83.2%)
どちらかといえば 住みにくい	13.1%	9.4%	11.5%	10.5%	14.4%
N-7 1- 411	4.3%	2.9%	3.1%	3.7%	2.3%
住みにくい 	《17.4%》	《12.3%》	《14.6%》	《14.2%》	《16.7%》

- ※<u>() の数値</u>は、<u>「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」</u>の合計値
- ※ 《》の数値は、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計値
- ※ 数値表記について、小数点第2以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計 は必ずしも一致しない。

→ 過去5か年の"住みやすさ"を経年比較すると、

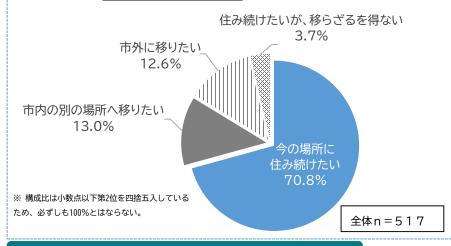
「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 令和3年度(82.7%)から令和7年度(83.2%)にかけて0.5ポイント増加 しているものの、概ね横ばいで推移している。

▶ 「住みにくい」が 令和3年度(4.3%)から令和7年度(2.3%)にかけて、2.0ポイント減少している。

7. あなたが思う大仙市について

(3) 大仙市に住み続けたいか

Q これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。



- 全体では、「今の場所に住み続けたい」が 70.8%、
 「市内の別の場所に移りたい」が 13.0%となっており、
 「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移りたい」を合わせた割合は 83.8%となっている。
- → 一方、「市外に移りたい」が 12.6%、
 「住み続けたいが、移らざるを得ない」が 3.7%となっており、
 「市外に移りたい」「住み続けたいが移らざるを得ない」を合わせた割合は
 16.3%となっている。

(4) 大仙市に住み続けたいか(経年比較表)

経年比較 (過去5か年)	R3	R4	R5	R6	R7
今の場所に住み続けたい	71.9%	77.3%	73.7%	74.3%	70.8%
市内の別の場所へ	12.9%	9.8%	11.2%	11.2%	13.0%
移りたい	(84.8%)	(87.1%)	(84.9%)	(85.5%)	(83.8%)
市外に移りたい	11.2%	9.8%	12.5%	11.0%	12.6%
住み続けたいが、	3.9%	3.1%	2.6%	3.5%	3.7%
移らざるを得ない	《15.1%》	《12.9%》	《15.1%》	《14.5%》	《16.3%》

- ※()の数値は、「**今の場所に住み続けたい**」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値
- ※《》の数値は、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の合計値
- ※ 数値表記について、小数点第2以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ず しも一致しない。

▶ 過去5か年の"住み続けたさ"を経年比較すると、

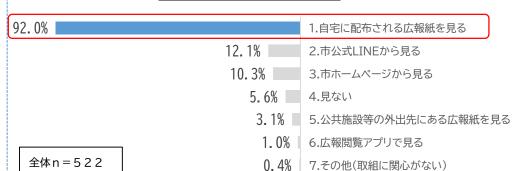
「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」を合わせた割合は令和3年度(84.8%)から令和7年度(83.8%)にかけて1.0ポイント低下しているものの、概ね横ばいで推移している。

令和7年度 市民による市政評価

8. 個別事業評価 調査結果の概要(広報活動)

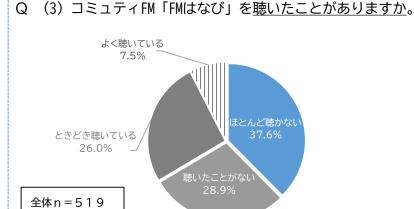
(1)「だいせん日和」の閲覧

Q 「だいせん日和」をどのようにして見ていますか。(複数回答可



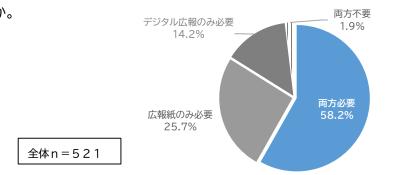
➤ 全体では、<u>「自宅に配布される広報紙を見る」</u>が <u>92.0%</u>と<u>最も高く</u>、 次いで「市公式 L I N E から見る」が **12.1**%となっている。

(3)コミュティFM「FMはなび」の聴取



→ 全体では、「よく聴いている」が 7.5%、「ときどき聴いている」が 26.0%となっており、「よく聴いている」「ときどき聴いている」を合わせ た割合は 33.5%となっている。

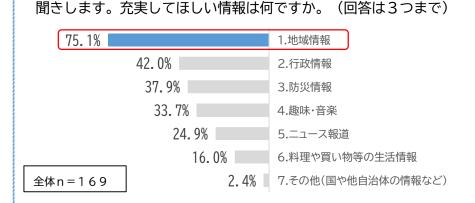
(2) 「だいせん日和」のあり方



全体では、「デジタル版と広報紙の両方が必要」が 58.2%と最も高く、次いで「広報紙のみ必要」が 25.7%となっている。

(4) コミュティFM「FMはなび」で充実してほしい情報

Q <u>(3)の問で</u>「よく聴いている」「ときどき聴いている」と回答した方にお

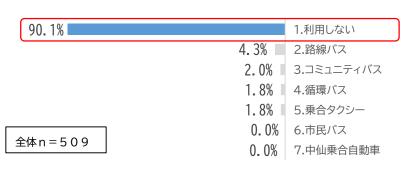


次いで<u>「行政情報」</u>が <u>42.0%</u>、<u>「防災情報」</u>が <u>37.9%</u>となっている。

9. 個別事業評価 調査結果の概要(地域公共交通対策事業)

(1) 主に利用する地域公共交通

Q 主に、どの公共交通を<u>利用していますか。</u>



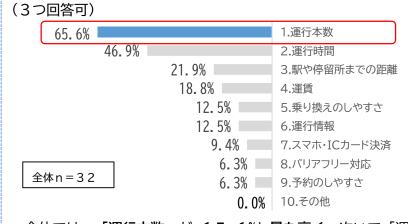
➤ 全体では、<u>「利用しない」</u>が <u>90.1%</u>と<u>最も高く</u>、

次いで<u>「路線バス」</u>が 4.3%、 <u>「コミュニティバス」</u>が 2.0%となっている。

(3)地域公共交通の改善点や充実してほしいもの

Q (2)の問で、「困ることがある」「たまに困ることがある」と回答した方に

<u>お聞きします。どのような点を改善等すると利用しやすくなりますか。</u>



→ 全体では、「運行本数」が 65.6%と最も高く、次いで「運行時間」が 46.9%、「駅や停留所までの距離」が21.9%となっている。

(2) 地域公共交通の利便性

Q <u>(1)の問で</u>公共交通を<u>利用していると回答した方</u>にお聞きします。

利用する際、困ることはありますか。

Bacとがある
30.6%

34.7%

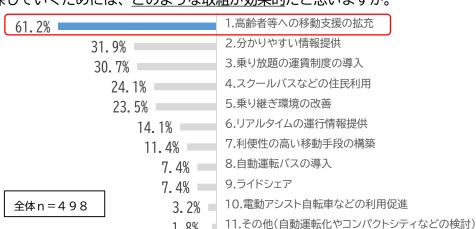
全体n=49

➤ 全体では、「困ることがある」が **30.6%**、「たまに困ることがある」 が**34.7%**となっており、「困ることがある」「たまに困ることがある」を 合わせた割合は **65.3**%となっている。

(4) 今後の地域公共交通の確保

Q 今後、公共交通が利用しやすくなる、あるいは暮らしに必要な移動手段を確

保していくためには、<u>どのような取組が効果的</u>だと思いますか。

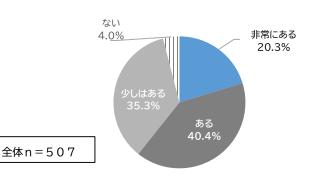


➤ 全体では、「高齢者等への移動支援の拡充」が 61.2%と最も高く、次いで「分かりやすい情報提供」が 31.9%となっている。

10. 個別事業評価 調査結果の概要(地球温暖化対策事業)

(1) 地球温暖化対策への関心

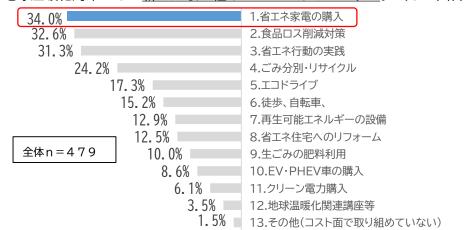
Q 地球温暖化対策に<u>関心がありますか</u>。



→ 全体では、「非常にある」が 20.3%、「ある」が 40.4%となっており、
「非常にある」「ある」を合わせた割合は 60.7%となっている。

(3) 地球温暖化対策として新たに取り組みたいこと

Q 地球温暖化対策として<u>新たに取り組みたいことはありますか</u>。(3つ回答可)

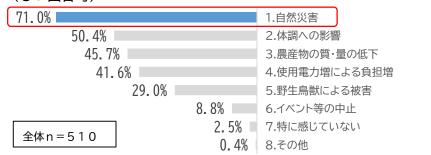


➤ 全体では、<u>「省エネ家電の購入」</u>が <u>34.0%</u>と<u>最も高く</u>、次いで<u>「食品ロス側減対策」</u>が <u>32.6%</u>、「省エネ行動の実践」**が 31.3%となっている**。

(2) 身近に感じる地球温暖化の影響

Q 地球温暖化による影響として<u>身近に感じていること</u>はありますか。

(3つ回答可)



→ 全体では、「<u>自然災害」</u>が <u>71.0%</u>と<u>最も高く</u>、次いで<u>「体調への影響」</u>
が <u>50.4%</u>、「<u>農産物の質・量の低下」</u>が <u>45.7%</u>となっている。

(4) 地球温暖化対策として重点的に取り組むべきこと

Q 市が地球温暖化対策として<u>重点的に取り組むべきだと思う取組は何ですか</u>。

(3つ回答可) 1.異常気象に備えた災害対策 50.0% 23.3% 2.ごみ分別・リサイクル 22.1% 3.森林環境整備・保全 21.9% 4.再生可能エネルギー設備 19.0% 5.省エネ家電の普及促進 18.0% 6.身近に出来る省エネ行動 17.4% 7. 熱中症対策 16.8% 8.省エネ住宅リフォーム 全体n=506 15.4% 9.企業の地球温暖化対策 15.4% 10.食品ロス削減対策 12.1% 11. 地球温暖化対策情報発信 11.9% 12.学校・地域での環境学習等 13.EV·PHEV車、充電環境 14.その他(電気代の補助等)

➤ 全体では、<u>「異常気象に備えた災害対策」</u>が <u>50.0%</u>と<u>最も高く</u>、 次いで「ごみ分別・リサイクル」が **23.3**%となっている。

令和7年度 市民による市政評価 調査結果 (満足度、重要度、要望度 一覧)

〈満足の度合い〉

(
順	位		満足度			
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)	
1	1	【保健·医療】	3. 62	3.66	▲ 0.04	
2	2	【自然·衛生環境】	3. 49	3.52	▲ 0.03	
З	3	【安全·安心体制】	3.44	3.51	▲ 0.07	
4	5	【スポーツ】	3. 41	3.44	▲ 0.03	
5	6	【上·下水道】	3. 38	3.40	▲ 0.02	
6	7	【地域情報化】	3. 35	3.34	0.01	
7	8	【学校教育】	3.34	3.32	0.02	
8	4	【子育て】	3. 31	3.48	▲ 0.17	
9	8	【生涯学習】	3. 27	3.32	▲ 0.05	
10	11	【芸術·文化】	3. 24	3. 29	▲ 0.05	
10	14	【社会福祉】	3. 24	3. 27	▲ 0.03	
12	11	【地域間·国際交流】	3. 22	3. 29	▲ 0.07	
13	10	【社会保障】	3. 21	3.30	▲ 0.09	
13	13	【花火産業構想】	3. 21	3. 28	▲ 0.07	
15	16	【市民協働】	3. 16	3.20	▲ 0.04	
16	19	【男女共同参画】	3. 13	3.15	▲ 0.02	
17	15	【道路·河川】	3. 12	3. 24	▲ 0.12	
18	17	【住環境】	3.10	3.19	▲ 0.09	
19	18	【地域活性化】	3.08	3.18	▲ 0.10	
20	20	【行財政運営】	3.07	3.11	▲ 0.04	
21	22	【移住·定住】	3.02	3.09	▲ 0.07	
21	23	【公共交通】	3.02	3.07	▲ 0.05	
23	21	【農林水産業】	3.00	3.10	▲ 0.10	
24	23	【観光】	2.99	3.07	▲ 0.08	
25	25	【出会い・結婚】	2.86	2.90	▲ 0.04	
26	26	【市街地】	2.82	2.87	▲ 0.05	
26	27	【空き家対策】	2.82	2.82	0.00	
28	28	【雇用·就労】	2.73	2.81	▲ 0.08	
29	29	【商工業】	2. 68	2.80	▲ 0.12	

〈重要の度合い〉

(里女り		// 又口い/			
順	立	重要度			
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【保健・医療】	4. 40	4.35	0.05
2	1	【子育て】	4. 38	4.35	0.03
2	3	【雇用・就労】	4. 38	4.34	0.04
4	7	【農林水産業】	4. 32	4. 22	0.10
5	4	【安全・安心体制】	4. 31	4. 25	0.06
6	8	【道路・河川】	4. 28	4.19	0.09
7	5	【社会福祉】	4. 21	4. 24	▲ 0.03
7	5	【商工業】	4. 21	4. 24	▲ 0.03
9	10	【上・下水道】	4. 19	4.13	0.06
10	9	【社会保障】	4. 17	4.17	0.00
11	12	【公共交通】	4. 15	4.05	0.10
12	11	【学校教育】	4. 14	4.06	0.08
13	13	【自然・衛生環境】	4. 12	4.04	0.08
14	14	【空き家対策】	4.00	3.99	0.01
15	19	【移住・定住】	3.98	3.78	0.20
16	17	【市街地】	3.91	3.81	0.10
17	18	【住環境】	3.90	3.79	0.11
18	15	【出会い・結婚】	3.89	3.85	0.04
18	15	【観光】	3.89	3.85	0.04
20	20	【行財政運営】	3.85	3.76	0.09
21	23	【生涯学習】	3.81	3.70	0.11
22	22	【地域活性化】	3. 78	3.72	0.06
22	21	【地域情報化】	3. 78	3.74	0.04
24	24	【男女共同参画】	3.69	3.65	0.04
25	26	【市民協働】	3.62	3.60	0.02
26	27	【芸術・文化】	3.58	3.53	0.05
27	25	【花火産業構想】	3.54	3.61	▲ 0.07
28	28	【スポーツ】	3.52	3.45	0.07
29	29	【地域間・国際交流】	3.39	3.40	▲ 0.01

〈要望の度合い〉(重要度-満足度)

順位			要望度		
R7	R6	項目	R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【雇用・就労】	1.65	1.53	0.12
2	2	【商工業】	1.53	1.44	0.09
3	4	【農林水産業】	1.32	1.12	0. 20
4	3	【空き家対策】	1.18	1.17	0.01
5	7	【道路・河川】	1.16	0.95	0.21
6	5	【公共交通】	1.13	0.98	0.15
7	9	【市街地】	1.09	0.94	0.15
8	10	【子育て】	1.07	0.87	0.20
9	7	【出会い・結婚】	1.03	0.95	0.08
10	6	【社会福祉】	0.97	0.97	0.00
11	10	【社会保障】	0.96	0.87	0.09
11	16	【移住・定住】	0.96	0.69	0.27
13	12	【観光】	0.90	0.78	0.12
14	13	【安全・安心体制】	0.87	0.74	0.13
15	15	【上・下水道】	0.81	0.73	0.08
16	13	【学校教育】	0.80	0.74	0.06
16	19	【住環境】	0.80	0.60	0.20
18	16	【保健・医療】	0.78	0.69	0.09
18	18	【行財政運営】	0.78	0.65	0.13
20	20	【地域活性化】	0.70	0.54	0.16
21	21	【自然・衛生環境】	0.63	0.52	0.11
22	22	【男女共同参画】	0.56	0.50	0.06
23	25	【生涯学習】	0.54	0.38	0.16
24	23	【市民協働】	0.46	0.40	0.06
25	23	【地域情報化】	0.43	0.40	0.03
26	27	【芸術・文化】	0.34	0.24	0.10
27	26	【花火産業構想】	0.33	0.33	0.00
28	28	【地域間・国際交流】	0.17	0.11	0.06
29	29	【スポーツ】	0.11	0.01	0.10